

令和元年(2019)

6月20日(木)

午前10時

法要・墓参(持光寺)

尾道市西土堂町9-2

午後11時

講演会

テアトロシェルネ

(しまなみ交流館1F市民ギャラリー)

尾道市東御所町10-1 ※JR尾道駅前

どなたでもご参拝・聴講頂けます(参加無料)

平田玉蘊の絵解きで語る みなと町尾道

尾道開港850年記念

「文人墨客をもてなす

江戸期の尾道の豪商と平田玉蘊の交流」

山口真一さん(尾道学研究会理事)

「平田玉蘊【風俗人物図】の絵解きで語る

江戸時代のみなと町尾道」

加藤慈然さん(妙宣寺住職)

林良司さん(尾道市史編さん室)

時は幕末の尾道。
一輪の花が天に舞い戻った。



平田玉蘊 没後164年

第25回

ぎよくおんき

玉蘊



主催：平田玉蘊顕彰会

平田玉蘊顕彰会事務局(アンデックス株式会社内)尾道市東尾道15-29

お問合せ先 TEL：0848-46-3711 / FAX：0848-47-1211



「百花百鳥図」 個人蔵

江戸時代後期。文化に花開いた華やかな時代「文化文政期」の頃。北前船の寄港により繁栄を極めた、みなとまち尾道。玉蘊の生まれた尾道がどのようなところなのか...改めてその意味を知る。



「風俗人物図」 六曲一歌 山口真一氏個人蔵

「唐美人図」 玉蘊・玉葆合作 10代〜20代前半・個人蔵

尾道の木綿問屋「福囀屋」に生まれた玉蘊・玉葆姉妹。文芸に秀でた父の影響で様々な文化人との交流をしつづき、頃より絵の才能で広くその名前を知られていた。



「鶏と朝顔図」 寶頼山陽 23歳頃・個人蔵

後にその思想で世界を動かすことになる頼山陽。二人が恋仲だった時期、神辺の藤勢の塾頭として活躍した山陽の實の残る絵。



「軍鶏図」(部分) (20代半ば頃か・浄土寺蔵)



「五客図」 (巴熟期・個人蔵)

画家として絵筆一本で家族を養った。人気作家となった玉蘊の名は、広く日本に広まった。華やかな花鳥画人物画歴史を題材にした絵巻でジャンルにとらわれない応需の作品を数多く残した。



「富士図」 (69歳個人蔵)

最晩年になるまで画家として活躍した玉蘊69歳に亡くなる年の正月10枚描き配ったといふ富士図が数多く残る。



今でも多くの方にお参り頂戴玉蘊長命の繪字

